

取組状況・成果

【新宿駅周辺地区の整備推進】

- 新宿駅東西自由通路の整備は、平成24年に工事着手し、平成32年の供用開始に向け着実に進めています。
- 平成28年3月、概ね20年後の新宿駅周辺地域が目指すまちの将来像として「新宿駅周辺地域まちづくりガイドライン」を地域と協働して策定しました。
- 駅前広場を含む新宿駅直近地区のまちづくりや、靖国通り地下通路延伸について、都や関係者とともに検討を進めています。
- 新宿通りのモール化については、その実現に向けて平成27年度に地域と協働で、課題である荷捌き車両の集約化に向けた社会実験を実施し、平成28年度はさらに規模を拡大し社会実験を行います。
- 平成27年6月に、誰もがわかりやすく使いやすいターミナルの実現に向け、関係者の垣根を越えて取り組むため、新宿ターミナル協議会を都と区共同で設置し、案内サインやバリアフリー施設等の整備に取り組んでいます。

【中井駅周辺地区の整備推進】

- 駅前広場の整備は、平成25年度から事業着手し、平成26年度に駅南側駐輪場及びストックヤード、平成27年度に人道橋南側橋台を整備しました。
- 南北自由通路は平成27年度75%まで進捗し、平成28年度完成、駅前広場の整備は29年度完成をめざしています。

現状・課題

【新宿駅周辺地区の整備推進】

- 東京の拠点としての地位を維持し、世界中の人々から選択される都市としていくためには、各地区の特性を活かし更なる都市機能強化とともに、各地区の連携・回遊性を高め、周辺地域全体での競争力・ブランド力向上を図っていく必要があります。
- 複数の鉄道路線が乗り入れるターミナル駅等では、多層で複雑な乗り換え動線や案内サインの不統一など、障がい者や高齢者だけでなく、国内外の観光客にもわかりやすく利用しやすい空間づくりが求められています。
- 魅力的で快適な、歩いて楽しい都市空間の創造に向けて、車中心から人中心へとパラダイムシフトしたまちづくりが求められています。
- 地域の活動を支える利用しやすい公共交通の整備をはじめ、荷捌き車や自転車等の適正かつ効率的な利用を支える都市環境整備が求められています。

【中井駅周辺地区の整備推進】

- 駅前広場の整備は、計画されている駅前広場や防災コミュニティ施設等を予定どおり整備していく必要があります。

目指すまちの姿・状態

新宿駅をはじめとする区内の主要駅周辺において、交通ターミナルとしての交通結節機能と特色ある都市機能を併せ持つ魅力を活かし、歩行者の回遊性、利便性向上を軸とした都市基盤整備と、より魅力的で賑わいあふれるまちづくりを連携して進めることで、歩きたくなるまちをめざします。

施策の方向性

【駅周辺地区の整備推進】

- 新宿駅直近地区は、世界一の乗降客数を誇る新宿駅を擁する交流の核であり新宿の顔であるとともに、世界中から人々を呼び込み、各地域へ送り出す拠点として、国際的な賑わい交流を創造する都市空間づくりを進めていきます。
- 少子・高齢化への対応や障がい者の社会参加を促進するだけでなく、更なる外国人観光客の増加に対応するため、誰もがわかりやすく利用しやすいユニバーサルデザインに配慮した交通ターミナル整備を促進します。
- 歩行者中心で賑わいを感じられる広場・道路空間づくりや、多層かつ民間との複合的な歩行者ネットワークを整備し、歩行者の回遊性とまちの賑わい向上を図ります。
- 鉄道やバス、荷捌き車、自転車など地域活動を支える多様な交通モードに対応した適切な施設整備とともに、周辺建物等とも連携した駅前広場や自由通路、駐車場等の公共的空間を整備し、人しやすい総合的な交通システムを構築します。



中井駅南側広場（完成イメージ）



新宿駅東西自由通路イメージ【東日本旅客鉄道株式会社HPより】